




アーシャ事務局よりお知らせ

定例総会のご案内	アーシャはインターン、ボランティアを募集しています！
<p>アーシャ定時総会・報告会の日程が決定いたしました。現地スタッフより、直接活動報告を聞くことができる貴重な機会です。皆様のご参加をお待ちしております。</p> <p>●日時 2016年5月28日(土) 13:00~16:30(予定)</p> <p>●会場 栃木県那須塩原市 健康長寿センター 2F</p> <p>●議題 2015年度事業報告・決算報告 2016年度事業計画・予算書の承認など</p> <p>☆正会員の皆様には後日ご案内をお送りいたします☆</p>	<p>①インターン…期間は6か月~1年未満、寮費/食費支給。スタッフの下、責任領域をある程度持つ。</p> <p>②ボランティア…期間は4週間~6か月未満、食費/寮費 1日400ルピー (約800円)、スタッフの補佐。</p> <p>日本とインド間の渡航費、ビザ申請費、海外旅行保険は自己負担となります。お申込み・お問い合わせは、recruitment@ashaasia.org までお願いいたします。</p>

アーシャ新スタッフ紹介	<p>初めまして。昨年12月よりアーシャ事務局でお世話になっております、會田(あいだ)るり子と申します。昔から海外に興味があり、学生時代は海外研究部・ボランティア部に所属し国内外様々な人々と交流を持つ中、いつか開発途上の国々に関わりのある仕事ができたら…という夢を抱いておりました。</p> <p>かつてアメリカに数年在住、移民の国とあり多種多様な生活習慣をまのあたりにしてきました。何が常識で何が常識ではないのか、自分の中での基準も何もかも覆されるような中での生活でしたが、互いの考えを尊重しながら、理解し合いながらの生活はとても貴重なものとなりました。アーシャの活動は私の想像を越えるほど多岐に渡っており、ひとつひとつ学びながら歩んでいるところです。まだまだ緊張の中での仕事ですが、少しでも経験をいかせるよう取り組んでいきたいと思っております。事務の他に、インド商品等の販売面でも現地につながる活動をしていく予定です。理事、会員、関係機関ならびにスタッフの皆様、まだまだ未熟な私ではありますが、今後とも共にアーシャの活動にお力添えいただきますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。</p>	 <p>AVSのトートバッグをラッピングする筆者</p>
--------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●会費・寄付・奨学金サポーターへのご協力をありがとうございました● 2015.11.14~2016.2.15

正会員・賛助会員の皆様、ご寄付をお送りいただきました皆様のご支援により、アーシャの活動が支えられています。ぜひ継続的なご支援をよろしくお願いいたします。(○は新入会員。順不同、敬称略)

誤字・記載漏れがございましたらご面倒でも事務局までご連絡下さい。よろしくお願いいたします。

終身個人賛助会員	個人正会員
個人賛助会員	一般寄付
奨学金サポーター	指定寄付
物品寄付	

■会費 個人正会員 5,000円 団体正会員 20,000円 終身個人正会員 50,000円 (正会員は総会議決権があります)
個人賛助会員 3,000円 団体賛助会員 10,000円 終身個人賛助会員 30,000円

■郵便振替 加入者名: アーシャ=アジアの農民と歩む会 口座番号: 00160-0-315147

特定非営利活動法人 アーシャ=アジアの農民と歩む会 ☆この会報はインド・アラハバードで製作・印刷されています☆
 <事務局・交流センター> 〒329-2703 栃木県那須塩原市槻沢83-17 TEL/FAX: 0287-47-7840
事務局 丹羽 寿美、會田 るり子 E-MAIL: info.jp@ashaasia.org
 アーシャ=アジアの農民と歩む会ホームページ: <http://www.ashaasia.org> Facebook、twitterも随時更新中!



**オルターナティブな
意義と実践を求めて**

三浦 照男
プロジェクト総責任者



SCSADの研修旅行で山岳地帯の村を訪問。筆者(中央)

最近、オルターナティブ (Alternative) という言葉は農村開発分野でよく聞かれるようになりましたが、その意味合いは未だ曖昧です。その意味を普遍化する必要はないのですが、その言葉を使う者として、その意義と目標を明確にしておく必要があると感じています。

一般的にオルターナティブとは『型にはまった、又は通常の』に対して『代わりとなる、又はもう一つの』という意味で使われています。ここで注意すべき点として、「型にはまったやり方」では何が問題か、また、通常の考え方では、何故「負の遺産」が蓄積されてしまうのか、それらを知ることが肝要です。

例えば、通常の開発アプローチでは、「持てる者、持てない者」、「都市部と農村部」、「男性と女性」の社会的格差がとめどなく広がってしまう。やればやる程、プロジェクト目標を見失ってしまう。このような経験をした方々は少なくないと思います。多くの研究者は、より高度な知識、より高度な技術、より高度なシステムを開発することで解決策を見つけようとしています。しかし、そのような技術のほとんどは農民不在で開発されていきます。第二次大戦後、化学農業の普及、遺伝子組み換え技術開発、そして現在は農業の大規模化政策です。しかしどうでしょう。これらの技術やシステム、政策は今後農民を幸せにするのでしょうか。現場をみれば、若者の農村離れ、農業離れは、インドでも日本でもかなり進んでいるのです。

私が初めてインドを訪れたのは1978年。一見、当時の農村風景と現在のものを比べると大差はありません。大きな違いは、より多くの農民が化学肥料や農薬を使い

始め、それらが農作物の収量の決め手となる、とっている農民が多くなったことです。即ち、土を大事にしようと努力するより、如何に安い化学肥料や農薬を入手するかということに躍起になっているのです。

私たちが提唱するオルターナティブな概念と実践の試みは、このような状況にその意義を発揮することができません。何故なら「通常の」開発の手法や考え方の何が問題なのか、どのようにそれに対処するかを考え、農民、商人、庶民が蓄積した技術や知識を活用して対策を練ることができるのです。それは単に、近代的な技術や概念を単に受け入れるのではなく、またそれらを否定するのでもありません。通常のやり方との「押し問答」の中で「もう一つの」アプローチを見出し、それぞれの良い点、持続可能なものは果敢に取り込んでいくのです。そのために私たちは常にチャレンジ精神と創造力を養っていく必要があります。そして、平和な社会の実現に向かって活動している、ということを実感できること、そして、この活動プロセスに人が育っているということがオルターナティブの前提条件です。アーシャが支援している有機農業組合活動、農村母子保健ボランティア活動、農村リーダー育成事業すべてにオルターナティブな実践を試み、その意義を深めて行きたいと考えます。